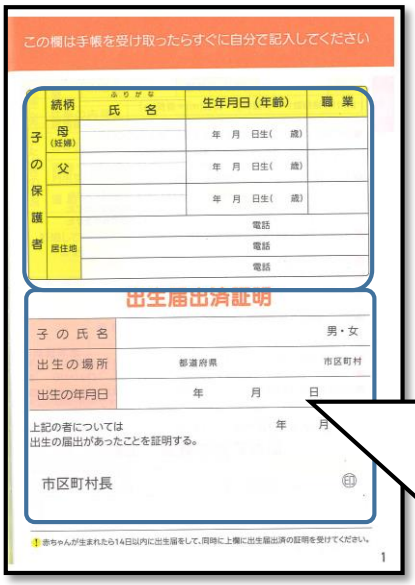
母子健康手帳のコピー箇所（見本）

①母(妊婦)の氏名・生年月日・居住地・電話の記入があること



この欄は手帳を受け取ったらすぐに自分で記入してください

子の保護者	続柄	ふりがな 氏名	生年月日（年齢）	職業
	母（妊婦）		年 月 日生（ 歳）	
	父		年 月 日生（ 歳）	
			年 月 日生（ 歳）	
	居住地	電話		
		電話		
		電話		

出生届出済証明

子の氏名	男・女
出生の場所	都道府県 市区町村
出生の年月日	年 月 日

上記の者については 年 月
出生の届出があったことを証明する。

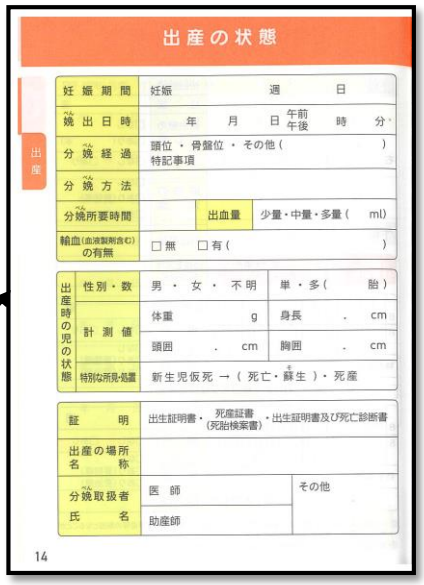
市区町村長 ㊞

赤ちゃんが生まれたら14日以内に出生届をして、同時に上欄に出生届出済の証明を受けてください。

1

出生届出済証明の記入が無い場合は、「P14出産状態」のコピーも送付してください。

①’出生届出済証明の記載がない場合



出産の状態

出産		
妊娠期間	妊娠 週 日	
娩出日時	年 月 日 午前 午後 時 分	
分娩経過	頭位・骨盤位・その他（ ） 特記事項	
分娩方法		
分娩所要時間		出血量 少量・中量・多量（ ml）
輸血（血液製剤含む）の有無	□無 □有（ ）	

出産時の児の状態			
性別・数	男・女・不明	単・多（ 胎）	
計測値	体重 g	身長 . cm	
	頭囲 . cm	胸囲 . cm	
特別な所見・処置	新生児仮死 →（死亡・蘇生）・死産		

証明	出生証明書・死産証書（死胎検案書）・出生証明書及び死亡診断書
出産の場所名称	
分娩取扱者氏名	医師 / 助産師 / その他

14

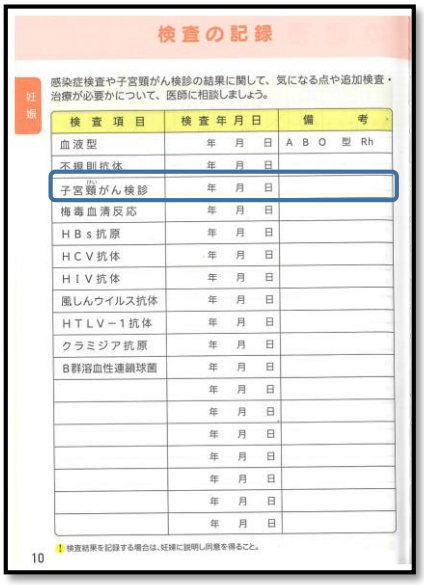
②妊婦健診の 診察月日等、健診記録の記入があること

妊娠中の経過

診察月日	妊娠週数－日	子宮底長	腹囲	体重	血圧	浮腫	尿蛋白	尿糖	その他の検査（血液検査、血糖、超音波など）	特記事項（安静・休業などの指示・切迫早産等の産科疾患や合併症など）	施設名又は担当者名
／	－	cm	cm	kg	／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			
／	－				／	－＋＋	－＋＋	－＋＋			

8 9

③「子宮頸がん検診」の検査年月日の記入があること



検査の記録

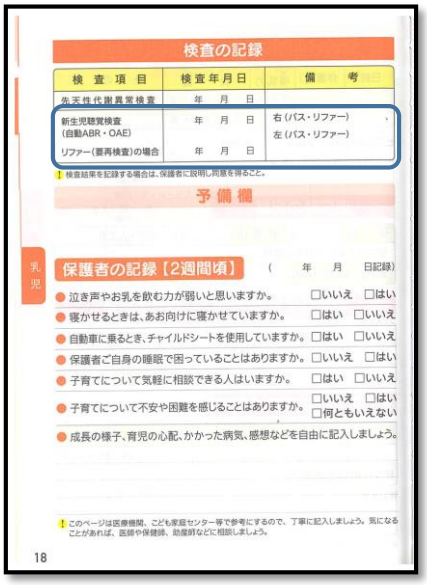
感染症検査や子宮頸がん検診の結果に関して、気になる点や追加検査・治療が必要かについて、医師に相談しましょう。

検査項目	検査年月日	備考
血液型	年 月 日	A B O 型 Rh
不規則抗体	年 月 日	
子宮頸がん検診	年 月 日	
梅毒血清反応	年 月 日	
HBs抗原	年 月 日	
HCV抗体	年 月 日	
HIV抗体	年 月 日	
風しんウイルス抗体	年 月 日	
HTLV－1抗体	年 月 日	
クラミジア抗原	年 月 日	
B群溶血性連鎖球菌	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

検査結果を記録する場合は、妊婦に説明し同意を得ること。

10

③「新生児聴覚検査」の検査年月日等の記入があること



検査の記録

検査項目	検査年月日	備考
先天性代謝異常検査	年 月 日	
新生児聴覚検査（自動ABR・OAE）	年 月 日	右（パス・リファー） 左（パス・リファー）
リファー（要再検査）の場合	年 月 日	

検査結果を記録する場合は、保護者に説明し同意を得ること。

予備欄

保護者の記録【2週間頃】（ 年 月 日記録）

- 泣き声やお乳を飲む力が弱いと思いますか。 □いいえ □はい
- 寝かせるときは、あお向けに寝かせていますか。 □はい □いいえ
- 自動車に乗るとき、チャイルドシートを使用していますか。 □はい □いいえ
- 保護者ご自身の睡眠で困っていることはありますか。 □いいえ □はい
- 子育てについて気軽に相談できる人はいますか。 □はい □いいえ
- 子育てについて不安や困難を感じることはありますか。 □いいえ □はい □何ともいえない
- 成長の様子、育児の心配、かかった病気、感想などを自由に記入しましょう。

このページは医療機関、こども家庭センター等で参考にするので、丁寧に記入しましょう。気になることがあれば、医師や保健師、助産師などに相談しましょう。

18